

Kitakyushu Foreign Trade Association

GLOBAL VIEW

2024 WINTER No.67

北九州貿易情報「グローバル・ビュー」2024年・冬号

- 言志私録 ● 『三つの使命』 門司税関 税関長 末永 広 1
- 新年挨拶 ● (公社)北九州貿易協会 会長 小野 裕和 / 北九州市長 武内 和久 2
- 会員紹介 ● アイム電機工業株式会社 4
- 事業紹介 ● スタートアップイベント「SWITCH」で北九州市長がトップセールスを行いました! ... 6
- ジェトロ ● 会員企業も使えるジェトロのスタートアップ支援サービス 8



KFTA
Kitakyushu Foreign Trade Association

公 社 法 人 北九州貿易協会



門司税関
税関長

末永 広

『三つの使命』

明けましておめでとうございます。北九州貿易協会の役員及び会員の皆様方におかれましては、平素から税関行政に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は平成2年に当時の防衛庁に入庁し、防衛省内各局、北海道防衛局等を経験して昨年令和5年7月に門司税関に参りました。

本協会におかれましては、貿易関連業務に携わられている多くの会員の方々がいらっしゃいますので、この場をお借りして、「税関の3つの使命」について御紹介させていただきたいと思っております。

一つ目は、「安全・安心な社会の実現」です。不正薬物等の密輸阻止を最重要課題とするとともに、テロ行為を未然に防止し、安全な国を築くという任務です。

二つ目は、「適正かつ公平な関税等の徴収」です。歳入官庁として、輸入貨物等に対し、適正公平に関税・消費税を賦課徴収するという任務です。

三つ目は、「貿易円滑化の推進」です。国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、迅速な通関を実現し、利用者の皆様の利便性の向上を図るとともに、経済連携協定交渉等を通じて多角的自由貿易体制を維持強化し、我が国の経済発展に貢献するという任務です。

門司税関の管轄内における特筆すべき事項としましては、コロナ禍に減少した入国者の順調な回復であり、特に管内に所在する福岡空港においては、入国者数がコロナ前の同月比を上回っている状況であり、他空港と比べても早い回復となっています。

また、北九州市に所在する北九州空港においては、国際定期便の運航が再開したこと、昨年2月に小口貨物などを取扱う国際貨物定期便が就航したことから、航空貨物が大幅に増加し、審査・検査業務も急増しております。今後、同空港では滑走路延伸や貨物専用機の新規就航が予定されており、これに伴う国際物流への影響についても注目しています。

税関を取り巻く環境は、昨今の経済情勢や国際情勢によっても大きく変容しております。こうした変化に的確に対応するため、人員の確保、先端技術の導入等による審査・検査の効率化を図り、引き続き税関の3つの使命を果たすべく税関行政を運営してまいります。

末永 広



「佐藤一斎 像」
渡辺崋山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉元総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのバイブル的存在。

(参考:ウィキペディア)



公益社団法人 北九州貿易協会
会長 小野 裕和



北九州市長
武内 和久

刻々と変化する世界情勢を見据えつつ、 新たな一年に挑む

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
会員及び関係の皆様におかれましては、平素より当協会の運営にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
昨年を振り返りますと、数年に亘るコロナ禍の収束により、経済社会活動の正常化に向けた動きが加速し、国内需要を中心に回復の動きが見えた一年でした。
一方で、ウクライナ危機の長期化やイスラエルとハマスの衝突等の地政学リスクや、米国と中国の経済対立などにより、世界経済の先行き不透明感が強まりました。
我が国においても、ウクライナ危機の長期化によるエネルギーや食糧等の資源価格上昇や、日米金利差拡大を背景とした急激な円安の影響による物価の上昇、中国及びロシアによる日本産魚介類の輸入停止措置など、景気に悪影響を及ぼす事態も生じました。
経済協力開発機構(OECD)や国際通貨基金(IMF)の予測では、2024年の世界経済は回復が続くものの成長の勢いは弱いとの見通しをしていますが、世界的なインフレ

の鎮静化や、国・地域間の紛争の終結等により早期に外需環境が好転し、世界と日本の経済が持ち直していくことを期待しています。
今年は、1月の台湾総統選挙に始まり、春にはロシア、ウクライナ大統領選挙やインドでの総選挙、11月には米国大統領選挙が行われます。その他にも多くの国・地域で今後の方向性を左右する選挙が予定されており、その結果によっては世界経済の動向に大きな影響を及ぼすことも十分に考えられます。
当協会はこの国際情勢に関する情報提供をはじめ、地政学リスクや国際的な金融情勢の不安などを抱えたなかで重大な危機を担われている地域の企業や経済団体の皆様のために、国際ビジネスに取り組む環境を整えるという役割を引き続き担っていくとともに、「北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター(KTIセンター)」(北九州市、ジェトロ北九州、北九州貿易協会)の一員として地域経済の発展に尽力する所存です。
会員の皆様におかれましては、当協会へお気軽にご相談いただくとともに、当協会の事業をぜひご活用いただきますようお願い申し上げます。
最後に、皆様のご健勝・ご多幸と事業の益々の発展を祈念して、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

「北九州市の挑戦 ～成長への再起動～」

新年おめでとうございます。
昨年は、2月に市長に就任した直後から、北九州市を「再起動」するべく、スタートダッシュから走り続けた1年となりました。
対外的な情報発信を強化するとともに、多くの企業へ積極的にトップセールスを行い、IT・半導体関連企業等の進出決定をはじめ、多くの企業と連携協定を締結しました。また、北九州空港滑走路3,000m化の着工、響灘沖の洋上風力発電所の着工など、巨大プロジェクトが大きな一歩を踏み出し、明るい兆しが見えてきました。
また、より大きな視野での都市の発展へ、北部九州エリアでの連携を強化すべく、福岡市長、下関市長とそれぞれ12年ぶりとなる「トップ会談」を実施。スタートアップ支援や観光、航空機の代替着陸など、様々な分野での取組がスタートしています。
そして、昨年12月には第2子以降の保育料無償化を実現したほか、公共施設の老朽化に対しては、全2,402施設の外壁を一斉点検し、急ピッチで対策を講じるなど、安全・安心な暮らしに向けても着実に動き出しています。
北九州市は、昨年2月に市制60周年を迎えましたが、現在、人口減少や政令市の中でも低い経済成長率など、多くの課題を抱えています。
しかし、北九州市はものすごい底力(ポテンシャル)を持っています。高い技術力を持つ企業、産業や物流のイン

フラ、災害に対する強靱性、都会も自然も歴史も食もあるまちの魅力、そして、多様性を受け入れる熱い人情とまちへの愛着を持つ市民の皆さま。これだけの魅力が揃ったまちは他にありません。
市民全体でこれらの力を引き出し、有機的につなげることで、人口流出を食い止め、成長軌道に乗せていくことができるかと確信しています。
現在、希望あふれる北九州市の復活に向け、皆さまと共に進むべきベクトルを示す新ビジョン(北九州市基本構想・基本計画)の策定に取り組んでいます。数多くの有識者や約4万5千名の市民の声を反映し、3月末に発表する予定です。併せて、新たな産業振興戦略や市政変革推進プランの策定も進めています。
今年は、2月に市版としては全国初となる「地球の歩き方北九州市版」が発行され、4月には北九州空港に1日10便の定期貨物便が就航するなど、賑わいや成長に向けた動きが加速していきます。
北九州市の更なる発展と、その果実である暮らしの安全、心豊かな生活の実現に向け、北九州市のポテンシャルを磨き上げ、世界から憧れられるまちを目指してまいります。
「動き出した、北九州市。」今年も、ワクワクする北九州市の未来をともに創ってまいります。



アイム電機工業株式会社



「水中ポンプのパイオニアとして、 世界における先駆的製品・サービスの開発に 取り組んでいます。」

弊社の事業内容・強み

弊社は1954年にエポキシ樹脂による電動機絶縁技術を確立したことが技術の始まりで、電動機の製作・メンテナンス事業を祖業としています。社名EIM(アイム)はエポキシ絶縁モータ(Epoxy Insulated Motor)に由来しており、創業から5年後にモータの耐水技術を応用した水中ポンプの製造を開始。水中ポンプ専門メーカーとしては国内最古参のメーカーとして認知されています。

弊社の主力商品は水中ポンプ及び水中モータです。中でも核となる水中ポンプは一般的な陸上ポンプに比べて、建屋不要、省スペース、据付・取外容易、低騒音、低振動など多くの長所を備えています。これらに加えて、高い信頼性が広く認知されるようになり、用途の拡大とそれに伴う特殊化・大型化が進み、公共インフラなど重要な設備に活用されています。主な用途としては、河川治水用、雨水排水用、下水処理用などの公共インフラ向けが中心ですが、産業界においても製鉄所、発電所や様々な工場でも広く使用されています。

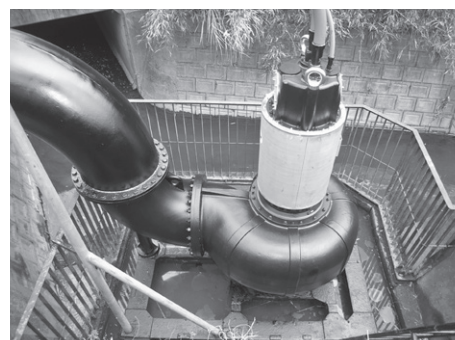
弊社は独自で設計・開発を手掛けており、機械メーカーでありながら電気及び機械設計を一体として行えることから、自由度が高く柔軟性のある設計が可能であり、顧客のニーズに細かく対応できる「オーダーメイドものづくり」を特徴としています。受注生産対応の製造能力も高く、特殊・大型水中ポンプにおいては、国内でもトップクラスの競争力を持っています。特に防爆形製品においては国内トップシェアを誇り、海外向けにおいても米国・東南アジア・オーストラリアなど海外展開する上でのキープロダクトとしてその競争力は高く、国内外で広く認知されています。



弊社社屋 正面写真



弊社の開発棟(1F入口)



水陸両用型水中ポンプ



雨水調整池排水用 大型水中ポンプ(北九州市)

海外展開の現状

海外進出は早い時期よりスタートしており、香港の建設需要増加に呼応して国内ゼネコン各社の要請もあり1976年に進出しました。水中ポンプのレンタルを軸に事業を始め、現在、香港の水中ポンプレンタル市場ではNo.1のシェアを誇り、業界のトップランナーとなっています。

タイにも1991年に同業態で現地パートナーとの合併会社を設立して業務を行ってきましたが、コロナの影響も少なく更なる成長が見通せない為、30年近く事業活動を行ってきた合併を2022年に解消しました。但し、同地区での販売活動は変わらずに継続しています。また、この他にも、アジア地域中心の15カ国に代理店展開しており、海外販売網は整備されています。

北米においては2002年よりシカゴを拠点に営業展開。米国防爆認証(FM認証)を取得し、防爆製品を核としたニッチな市場ではありますが、米国のポンプメーカー(現在では6社)と提携して防爆形水中モータを提供しており、米国は有力な市場として注力しています。尚、今年度には本格的に北米へ進出するための準備もしているところです。

このように現在では海外代理店、海外パートナー(合計22社)との連携により海外展開を推進し、世界30以上の国・地域へ輸出しています。海外においても公共インフラが中心であるため、メンテナンス・サービスは重要で、国内同様にアフターサービス事業の強化を進めており、代理店との協業で現地対応出来ることが必須となります。

海外展開する上では市場・地域によって事業形態や投入商品を変えており、また、マスプロでの開拓ではなく、弊社の競争力の根源である市場のニーズを「オーダーメイドものづくり」で製品・サービスの提供を実現することでニッチな市場でその存在感を高く持っています。これからも様々な声を拾って、先駆的製品・サービスの開発に取り組んで、海外展開を進めていきたいと考えています。

一方、輸入については現在、海外からの部材の調達はまだまだ少ないですが、コロナを経験してサプライチェーンの多様性は今後も大きな課題であり、強化して取り組まなければなりません。そのために取引先の開拓は国内のみならず、東アジア中心に海外へも視野を広げて進めています。しかしながら、海外生産については当面は考えておらず、Made in Japanを基本に競争力ある商材を展開することとしています。



カンボジア国プノンペンにて

今後の抱負

国内事業は気候変動の影響で風水害が増えてきており、防災減災におけるニーズにおいては寄与できることも多いことから、信頼性はもとより、社会から期待される商品・サービスを提供して社会に貢献することを常に考えています。

海外事業は米国に本格進出して、米国・アジア地域を中心に5年後には海外売上比率を40%(現在は22%)へと伸ばし、成長エンジンの一つが海外事業となるように考えています。

また、R&D部門の強化の取組、生産性向上に向けては、工場のDX推進でスマートファクトリー化するための活動を様々なシステム導入と共に展開しているところです。

今年度、経営理念実現の為、基本方針・行動理念を再定義しました。時代が大きく変わる中で社会が会社に期待する事、会社が社員に期待する事、それらを実現するため新たな時代に向けて未来を描いています。また社員それぞれが自己実現の為・成長の為、会社という舞台上で社会と関わりを持ち、豊かで充実した社会との関係を創り上げることを実現したいと考えています。

弊社は、常に新たなチャレンジをすることで、「社会に」「お客様に」「社員に」期待される企業であることを目指していきます。

お問い合わせ先

アイム電機工業株式会社

〈本社〉〒806-0004 福岡県北九州市八幡西区黒崎城石3-4

Tel(093)644-2011 Fax(093)202-1288 <http://www.eimpump.co.jp>

アジア最大級・シンガポール開催の スタートアップイベント「SWITCH」で、 北九州市長がトップセールスを行いました!

11月1日(水)、アジア最大級のスタートアップイベント「SWITCH」の会場内において、北九州市のプロモーションイベント「Japan Entry to KKJ (Kitakyushu, Japan)」を開催しました。

(開催にあたっては、ジェットロ、ウイングアーク1 s t 株式会社、シンガポール企業庁と連携)



イベントでは、北九州市長の武内和久が登壇し、北九州市の投資環境やポテンシャル、スタートアップ支援の取組を紹介することで、シンガポールのスタートアップの北九州市への進出を呼びかけました。

北九州市長のほかにも、九州工業大学やTOTO株式会社、ウイングアーク1 s t 株式会社、スタートアップ3社に登壇いただき、産学官一体で北九州市のプロモーションを行うことで、北九州市の強みである「ものづくり企業や理工系人材の集積」をアピールすることができました。

今回のシンガポールでの誘致プロモーションは、北九州市としては初めての試みでしたが、シンガポールの皆様に北九州市の強みや魅力を知っていただく良い機会になりました。

これを契機に、北九州市がシンガポールから日本市場を目指すスタートアップのゲートウェイになるように、引き続き誘致プロモーションを進めていきます。



■シンガポール企業庁や大学、現地スタートアップへのトップセールス

イベント終了後、シンガポール企業庁や南洋理工大学、現地スタートアップ2社を訪問し、今後の北九州市への進出や連携に向けてトップセールスを行いました。

シンガポール企業庁

シンガポール企業庁は、世界中に36拠点を設置し、シンガポール企業の海外(日本)進出を支援する国の機関です。「SWITCH」の主催者でもあり、北九州市のイベント実施にもお力添えをいただきました。

面談では、北九州市のスタートアップ支援の取組を高く評価いただきとともに、北九州市の企業とシンガポールのスタートアップとのオープンイノベーションの可能性などについて、具体的な意見交換を行いました。



南洋理工大学

南洋理工大学は、理工系の大学として世界から高い評価を受けているシンガポールの国立大学です。

同大学電気電子工学部のジョセフ・チャン教授は、人工衛星に搭載した電子機器を放射線から守るための半導体開発を行っており、その研究室から生まれたスタートアップ「ゼロ・エラー・システムズ」は、九州工業大学と連携し、人工衛星での技術検証等を実施しております。

今回、九州工業大学の皆様とともにチャン教授の研究室を訪問し、宇宙産業の振興に向けた北九州市・九州工業大学との連携強化を呼びかけました。



SoundEye社

SoundEye社は、音声・画像認識技術を用いて、プライバシーを最大限に守りながら、高齢者や障がい者の転倒・離床検知や緊急事態の自動検知のモニタリングシステムを提供するシンガポール発スタートアップで、今年度の北九州市のスタートアップ支援事業に採択されております。

同社の製品が展示されているラボを訪問し、実際の機器を用いた技術の説明を受けるとともに、今後の北九州市での拠点設置に向けた意見交換を行いました。



Azendian Solutionse社

Azendian Solutions社は、データ分析、AI、機械学習などの先進技術を応用したソリューションにより、ビルや商業施設等における空調設備のエネルギー使用量を最適化・運用コストを削減するシンガポール発スタートアップで、今年度の北九州市の実証支援事業に採択されております。

同社のソリューションが導入されているビルを訪問し、実際にAzendian社の技術が使用されている現場を視察しました。また、今後の北九州市でのビジネス拡大に向けた意見交換も行いました。



新規事業をお考えの皆さまへ

会員企業も使える ジェトロのスタートアップ支援サービス

「スタートアップこそ、課題解決と経済成長を担うキープレイヤーである」と2022年を「スタートアップ創出元年」と宣言した岸田政権。スタートアップへの投資額を5年で10倍にするなど様々な支援展開を発表しています。今回は中堅・中小企業も使えるジェトロのスタートアップ支援サービスを3つ紹介します。



1 グローバル・アクセラレーション・ハブ

無料

世界各国のスタートアップ・エコシステム先進地域において、現地有力アクセラレーター等と提携し、海外進出あるいは海外での資金調達を目指すスタートアップに対し、ブリーフィングやメンタリング、コワーキングスペースの提供等を行っています。

主なハブ設置拠点

シリコンバレー、ニューヨーク、上海、シンガポール、バンコク、ロンドン、パリ、ドバイ、ナイロビ、シドニー、サンパウロ

2 J-StarX

基本無料

一部渡航費など参加者負担あり

日本国内で研修を実施した上で、米国シリコンバレーや他の地域に1週間～数か月派遣。ピッチ実務体験、スタートアップ訪問、起業家・VCによる講演・講義、現地メンタリング等を提供します。対象は起業前の学生・研究者層といった個人から、起業後のスタートアップ企業まで、幅広く支援。

主な派遣先

シリコンバレー、ニューヨーク、パリ、バルセロナ

3 J-BRIDGE

無料



日本企業とスタートアップ等の海外企業のオープンイノベーション創出のためのビジネスプラットフォーム。「DXポータル」で情報収集や「会員専用フォーラム」で面談アレンジなど。海外企業とのアライアンス（業務提携・技術提携・出資・合併事業設立等）やM&Aにより、ビジネス開発や新規事業創出等をサポートします。

重点地域・国

東南アジア、インド、米国、欧州、オーストラリア、イスラエル、アフリカ

スタートアップ用語集^(注)

エコシステム	スタートアップを継続的に生み出し企業の新陳代謝を促進させる働きをもつ関係者のつながり、コミュニティー
ユニコーン	企業評価額が10億ドル(約1500億円= 1 billion)以上で、未上場のベンチャー企業
アクセラレーター	スタートアップ企業のビジネス拡大・急成長に焦点を当てた資金投資やノウハウなどのサポートをする組織
シードステージ	まだ企業として完全に立ち上がっておらず、研究および製品開発を継続している状態
アーリーステージ	起業した直後から製品開発、製造および初期のマーケティングを行っている時期。スタートアップステージと呼ばれる場合もある
ミドルステージ	事業が軌道に乗り始める段階
レイターステージ	成長の最終段階、持続的なキャッシュフローがある状態、株式公開の準備などを開始する時期でもある
ブートキャンプ	アクセラレーションプログラムと同様のカリキュラムだが、より短期集中型で行う研修プログラムのこと
ピッチ	自社ビジネスのプレゼンを行うこと。プレゼン時間は4分前後が一般的
エレベーターピッチ	エレベーターに乗っている間に投資家にスタートアップがピッチをしたことで投資が決定したという逸話もあり、短時間のピッチのことを指すワード。30秒～1分程度
ピッチデッキ	自社ビジネスを記載したプレゼン資料
メンター	スタートアップ分野に各種知見を持つ専門家
メンタリング	スタートアップ分野に各種知見を持つ専門家が、個別相談をすること
アクセラレーションプログラム	アクセラレーターにより運営される、数週間～数ヶ月の短期的支援で、ビジネスを急速に成長させる支援プログラム
デモデイ(Demo Day)	アクセラレーターから指導を受けたスタートアップが投資家の前で自社ビジネスのプレゼンを行うイベント(本来は資金調達を目的としているが、ジェトロでは投資家やビジネスパートナー候補とつながる場としている)
ベンチャーキャピタル(VC)	未上場企業に対して出資を行う機関
コーポレートベンチャーキャピタル(CVC)	自己資金でファンドを組成し、主に未上場の新興企業(ベンチャー企業)に出資や支援を行う活動組織
エンジェル投資家	創業期に資金援助する個人投資家

(注) ジェトロのサービスGlobal Startup Acceleration Program (GSAP)「Global Preparationコースエントリー要項プログラム内容・エントリー要項」より抜粋(一部変更)

お問い合わせ先

日本貿易振興機構(JETRO)北九州貿易情報センター
 TEL: 093-541-6577 MAIL: KIT@jetro.go.jp 担当:高橋